

《履修上の留意事項》色鉛筆や、クレヨン、またはコラージュ作成用の雑誌や、のり、はさみを持ってくるようにお願いすることがある。

《担当者名》山下 佳久

【概要】

人間性心理学における代表的なアプローチを紹介する。人間性心理学とは、生きた全体としての人間探求を志向しようとするアプローチのことである。そのアプローチの概要を理解し、実際に体験してもらうワークをいくつか考えている。

【学修目標】

人間性心理学における代表的なアプローチを紹介し、その概要を理解する。また、それらのアプローチを体験的に理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	人間性心理学の誕生とその経緯	人間性心理学がどのようなものであるのか、大まかな概要について学び、その誕生の歴史について知る。	山下 佳久
2			
3	来談者中心療法について学ぶ。	来談者中心療法の自己理論と、共感的理解、無条件の肯定的配慮、自己受容といったセラピストに求められる態度条件について学習する。	山下 佳久
4 }	ジェンドリンの体験過程理論について学ぶ。	フォーカシングや、体験過程療法の概要について学ぶ。また、フォーカシングと並置する方法であるTAE (Thinking At Edge) について学び、体験してみる。	山下 佳久
8			
9	ゲシュタルト療法について学ぶ。	ゲシュタルト療法の理論や、そのアプローチについて学ぶ。	山下 佳久
10 }	アサーションについて学ぶ。	アサーションの基本的な考え方や、その方法について学び、その方法を体験してみる。	山下 佳久
11			
12	分析心理学について学ぶ。	分析心理学の理論や、そのアプローチについて学ぶ。	山下 佳久
13	プロセス指向心理学について学ぶ。	プロセス指向心理学の理論や、そのアプローチについて学ぶ。	山下 佳久
14	表現、芸術療法を学ぶ。	表現療法の理論や、そのアプローチについて学ぶ。スクイグル、MSSM法といった描画法等を体験してみる。	山下 佳久
15	日本独自の心理療法について学ぶ。	内観療法や、森田療法といった、日本独自の心理療法の理論や、そのアプローチについて学ぶ。	山下 佳久

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・レポートによる評価が主だが、出席点を加味する。
- ・体験学習への参加や、それによる自己の体験の認識も見る。

【参考書】

適宜、伝える。

【学修の準備】

受講して学んだことを自分自身の体験として落とし込んでもらえたら嬉しい。
体験学習で困ることがあったら、遠慮なく、この講義を担当する教員に相談すること。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

心理臨床経験を踏まえた講義を行いたい。